

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 M-47

申請日	2026/2/13	承認日	2026/4/10	委員長	印
レジメン登録日	2026/6/1	仮承認日		承認者	印

術前DTX+PerTra(sc)	病名	乳癌	外科	提出医	Dr
対象	HER2陽性の乳癌患者(リンパ節転移陽性)で術前化学療法				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール(日)														
			1	5	8	10	15	20	25	30							
フェスゴ配合皮下注IN(Per+Tra)	Per1200mg+Tra600mg/body	SC	○														
フェスゴ配合皮下注MA(Per+Tra)	Per600mg+Tra600mg/body	SC										○					
ドセタキセル	75mg/m ²	div	○									○					

投与間隔・休薬期間等：21日=1コース
 術前は4コースまで
 術前・術後でフェスゴの投与が分かれる場合は、合計で12ヶ月(最大18コースまで)

【投与処方例(前投薬など)】

※フェスゴは「IN」=初回導入、「MA」=維持投与量であり、規格注意。

Day1(初回量)

- ① フェスゴ配合皮下注IN /皮下注 8分(大腿部に)
終了後、30分間経過を観察し、②を開始すること！

- ② メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ③ メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg /div 30分
- ④ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液250mL+ドセタキセル /div(閉鎖) 1時間

Day1 (2コース目以降の維持量)

- ① フェスゴ配合皮下注MA /皮下注 5分(大腿部に)
終了後、15分間経過を観察し、②を開始すること！
- ② メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ③ メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+デキサート6.6mg /div 30分
- ④ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液250mL+ドセタキセル /div(閉鎖) 1時間

【肝機能障害による減量基準】

※ドセタキセル

T-Bil > ULNで中止

AST/ALT > 1.5 × ULNかつALP > 2.5 × ULN : 投与中止

【副作用による減量基準】

FNG3.4、好中球G2~4でG-CSFを投与して2~3週間で回復、血小板減少G4

下痢・口内炎G2.3、嘔吐G2、末梢神経障害G2、T-Bil・AST・ALT上昇 : G2の場合は1段階減量

DTX : 60mg/m²

【投与間隔と投与量について】

- ・前回投与日より6週間未満の時、フェスゴMA(維持投与量)を投与する。
- ・前回投与日より6週間以上の時、フェスゴIN(初回導入)を投与し、次回以降にフェスゴMAを投与する。

【ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivからの切り替えについて】

- ・ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの投与日より6週間未満の時、フェスゴMA(維持投与量)を投与する。
- ・ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの投与日より6週間以上の時、フェスゴIN(初回導入)を投与し、次回以降にフェスゴMAを投与すること。

【フェスゴからペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの切り替えについて】

- ・フェスゴの直近投与日より6週間未満の時、維持投与量のPer420mg+Tra6mg/kgを投与する。
- ・フェスゴの直近投与日より6週間以上の時、初回投与量のPer840mg+Tra8mg/kgを投与する。次回以降はPer+Traは維持量で投与すること。

制吐剤セット処方⑦：むくみ抑え目的

Day2.3 デカドロン0.5mg 4錠(1日1回朝食後)

参考資料：フェスゴ電子添文、インタビューフォーム、適正使用ガイド